

登録コード	T5300							
授業科目	デザインプロジェクト						担当教員	橋本 昌巳
英文授業名	Design Project						副担当	川原 琢也・新村 正明・藤原 洋志・小林 一樹
単位数	4	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・3時限 水曜・4時限		対象学生	情報工学科の基礎科目を受講済のもの
講義室	IWI-115教室			授業形態	講義	備考		
(1)授業のねらい 授業で得られる「学位授与の方針」要素 / : 全学共通 ・基礎理論に基づいて工学的な観点から問題点や課題を発見することができ、筋道を立てて解決できる ・自らの考えを他者に理解できるように伝達すると共に、相手の考えを十分に把握して論理的に討議できるコミュニケーション能力を有する。 【授業の達成目標】 ・課題に対して問題点を明確にし、その解決へのアプローチを計画、遂行できる能力を身につける。 ・グループ作業を通して、意思の疎通や共通意識の確立に配慮し、課題に対して論理的に討論できる能力を身につける。 【授業のねらい】 本授業では、情報工学分野における高度な製作実験・プログラム設計などを行う。実験課題はハードウェア分野、ソフトウェア分野、もしくはその両方にまたがる分野から設定もしくは選択することができる。該当分野における中規模以上のプロジェクトを遂行する能力を身につけることを目標とする。								
(2)授業の概要 本授業では、情報工学分野における高度な製作実験・プログラム設計などを行う。実験課題はハードウェア分野、ソフトウェア分野、もしくはその両方にまたがる分野から設定もしくは選択することができる。単位を取得するためには、当初の計画立案とその遂行、中間および最終のレポートまたは発表などを通じた審査に合格する必要がある。								
(3)授業計画 概ね以下の計画に沿って行う。 1. テーマの設定を行い、その作業日程・費用・成果などの見積もりを含む実験計画を立案する。 2. ミーティング計画の妥当性をレビューなどを通して行い、計画の承認を得る。 3. 実際の製作・プログラミングなど承認された計画を遂行する。遂行途中での計画変更などがあれば、再度、レビューなどを行い、変更の妥当性を検討する。審査のためのレポートおよび発表準備も同時に行う。 4. 成果の審査面接・発表会成果の審査を面接もしくは発表会を通して行い、プレゼンテーションおよび成果に対す議論を行う。 5. 最終レポート提出面接・発表会等での指摘を反映した最終的なレポートを作成する。 第 1回(9/28)ガイダンス 第 2回(10/ 5)プロジェクト課題の説明 第 3回(10/12)グループ作業（作業計画立案など） 第 4回(10/19)グループ作業（作業計画のレビュー等） 第 5回(10/26)グループ作業 第 6回(11/ 2)グループ作業 第 7回(11/ 9)グループ作業 第 8回(11/16)中間発表会または中間報告書提出 第 9回(11/30)グループ作業 第10回(12/ 7)グループ作業 第11回(12/14)グループ作業 第12回(12/21)グループ作業 第13回(1/11)グループ作業 第14回(1/18)成果報告会 第15回(1/25)最終報告書提出								
(4)成績評価の方法 本授業では情報工学分野の中規模以上のプロジェクト遂行能力の取得を目標とする。 そのため問題設定、計画立案、遂行および報告に関して、報告書並びにプレゼンテーション等に基づき評価し、単位を認定する。								
(5)成績評価の基準 授業をとおして課すレポートについて次のように評価する。 (i) 問題設定が適切である。 (ii) その問題に対してどのような課題があるか指摘している。 (iii) その課題の解決法を説明し、実現している。 (iv) 当初の問題に対して個々の課題の解決法を最適化している。 (v) その上で自分の見解を提示できている。 上記(i)から(v)までの5項目を満たしており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」とする。(i)から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」、4項目までできていれば「やや上にある」、3項目までできていれば「水準にある」とする。								
(6)事前事後学習の内容 毎回の授業において次回までの課題を示す。その課題については、次回授業時に確認、または回収する。								
(7)履修上の注意 実習授業である								
(8)質問、相談への対応 実習中に直接に講師・TA等へ								
(9)その他 なし								
【教科書】 なし 【参考書】 なし								